

ボランティア OSAKA



日産労連主催のチャリティー・ミュージカル
「エルリック・コスモスの239時間」(P.7参照)

第16号

'99/WINTER

●発行●

(福)大阪府社会福祉協議会
大阪府ボランティアセンター

特集

いま、多彩に広がる
労働組合のボランティア活動

いま、多彩に広がる

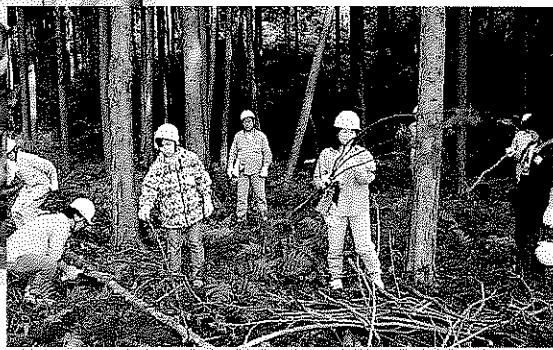
労働組合のボランティア活動



いま、労働組合の社会貢献活動、ボランティア活動が広がりを見せはじめています。きっかけは言うまでもなく、あの阪神淡路大震災。多くの組合が現地へのさまざまな救援・支援活動に取り組むなか、ボランティア活動は労働組合のなかに着実に根を張り、いまじわりじわりと静かな広がりを見せ始めているようです。

元来、組合員の権利擁護を目的とする労働組合が、なぜボランティア活動なのか。違和感を抱く人もいるかも知れません。しかし考えてみれば、労働組合もまたNPOの一大勢力。組合とボランティア活動とは、けつしてミスマッチするものではないはずです。

今回は、多彩に広がる労働組合の社会貢献活動、ボランティア活動を取材しました。





地域のお年寄りに、「声かけ配達」 「ふれあい郵便」で地域を支える

全通信労働組合 大阪池田支部

郵便局員の労働組合である全通では、組合中央が呼びかけて、郵便物を配達する際に一人住まいのお年寄り宅に寄つて安否を気遣い、また行政への連絡事項や要望を聞く「ふれあい郵便」の活動を展開しています。かなり手間のかかる活動で、それまでは過疎地ではともかく、比較的郵便物の多い都市部では残念ながらほとんど取り組みがなされていませんでした。しかし困難が伴うからと言って、やらない理由にはしたくない。地域にはニーズがあつて、考えてみれば私たちの仕事は、何よりも地域に密着した事業。地域を支えるのは、私たちの社会的役割でもあります。だから」と支部長の野坂知良さん。

「市の福祉行政とタイアップした活動ですが、単に郵便物を届けるだけでなく、声をかけ、安否を確認し、市への要望などを記録して、必要に応じて行政に報告（連絡）するとこころが「ふれあい郵便」のポイントで決めて行いました。そのほうが合理的だと考えたからです。しかしそのうち『嬉しい批判』が仲間からあがつてきました。それは『自分たちもやりたい、やらせろ』というものです。そこで、配達員全員が手分けしてお年寄り宅を訪問する現在のスタイルに切り替えたんです」。

多くの組合員が「お年寄りがたいへん喜んでくれる」「ありがとう」の

こうして93年、都市部では全国で最初の取り組みとして、市内に住む、75歳以上の人一人住まいのお年寄り全員に市長からのハガキを届ける活動がスタートしました。「対象は約600名。これを最初は、6つの配達班から1名ずつ」ふれあい郵便担当を

活動ですが、單に郵便物を届けるだけでなく、声をかけ、安否を確認し、市への要望などを記録して、必要に応じて行政に報告（連絡）するとこころが「ふれあい郵便」のポイントで決めて行いました。そのほうが合理的

だと言つて、やらない理由にはしたくない。地域にはニーズがあつて、考えてみれば私たちの仕事は、何よりも地域に密着した事業。地域を支えるのは、私たちの社会的役割でもあります。だから」と支部長の野坂知良さん。

一言に感激した」「ひとときの話しだ手になつてお札をいわれて感激した」と、自分たちの活動に誇りと自信を持つたといいます。業務に支障をきたさないだろうか…、ややもすれば労働強化につながるボランティア活動に、組合員が理解を示してくれるだろうか…そんな心配は「杞憂でした」と野坂さんは語ります。

こうして、いまでは組織内にすっかり定着した池田支部の「ふれあい郵便」活動が評価され、市からの「善行賞」も受賞。今後は「年一回の敬老月間の取り組みだけでなく、たとえば阪神大震災のような災害時に対応がとれないか等、地域に密着した郵便局ならではの活動も模索していきたい」とも続けます。事実、郵便局では以前より、ふれあい郵便の活動の他に、道路の危険

箇所を地元土木行政に報告するなどの活動を行つております。その素地と可能性は充分にあります。「私たちは配達業務で、地域の道路を走り回つて、小さな路地の陥没などを報告するのは、自分たちの安全を守ることにもなる。ボランティアマインドを少しでも頭の片隅に置いて仕事を取り組めば、地域社会に貢献できるいろんな活動メニューが見えてくると思うんですね」。郵政当局も、こうした組合の社会貢献活動には、もちろん好意的。

本業のなかで、あるいは日常業務のなかで、ボランティアマインドを少し発揮することが素敵な活動につながるついでボランティア。「ふれあい郵便」の活動は、その典型と言つていいかもしません。

交通弱者に視点をおいた、 バリアフリーの街づくり ～組合員のためのボランティアコーディネート機関～

都市交 大阪交通ライフサポートセンター

全通と同じように、「本業」に絡めたボランティア活動を展開してきたのが大交（大阪交通労働組合）です。交通事業に従事する人たちの労組として、早くから「だれもが利用しやすい地下鉄・市バス」を目指し、駅にエレベーターとエスカレーターの設置、地下鉄車両には車椅子スペースの確保、そしてリフト付き路線バ

ーの導入など進める運動に取り組んできました。こうした活動を続けるなか、92年には障害をもつ人たちの社会参加を促進すべく「ボランティア基金」を設置。いまでは障害者支援、災害支援など幅広い活動を展開しています。

そして95年に、組合員および、その家族、O B のさまざまなボランティ

イア活動を支援・コーディネートする専門機関として設立されたのが「大交 LSC（ライフサポートセンター）」です。

「95年は、戦後に組合が再建されから50周年にあたる年でした。LSCはその記念事業として、多彩なボランティア活動の情報収集・発信機関として設立したのですが、期せずして同年には阪神・淡路大震災が発生。設立早々、多くの組合員を現地に送るコーディネート機関として忙殺されることに…」と理事長の山口和郎さん（大交委員長）は語ります。

このように、スタート当初は連合大阪や西宮ボランティアネットワークの要請に対応する震災ボランティアが中心でしたが、被災地救援が一段落してからは、ロシアのタンカー事故の際には延べ200名の組合員が流出重油回収に参加するなど、独自のサポート（ボランティア・リーダー）養成にも取り組み、今まで



アイマスクや拘束具を身につけて高齢者を疑似体験



障害者と一緒に運動会

視点を置いた活動は積極的に行っていく」とも山口さん・津嶋さん。

ちなみに、LSCは大交（大阪交通労働組合連合・大阪市交通局退職者会・大交パートナーサークル）が中心になりつつも、団体会員として大阪市交通労働組合連合・大阪市交通局の関係事務団体などが参画。その意味では、

”何よりも、生徒さんから ”元気”がもらえるのが嬉しい ～『吹田自主夜間中学』の取り組み～

日教組 吹田市教育職員組合

さまざまな理由で、中学を卒業できなかった人たちのために設置されている夜間中学校。現在、大阪には生野、菅原中学校など10の公立夜間中学校があります。しかし、この数ではまだ充分ではなく「住まいや職場の近隣に夜間中学ができるば…」と願っている人は少なくないようです。そんな人たちのために、学校関係者がボランティアマインドを發揮し、自主的に開校・運営しているのが『自主夜間中学』です。

大阪では羽曳野市や吹田市などで開校され、当該地域の教職員組合、そして市民の皆さんとの協力で運営されています。

山田洋次監督の映画『学校』（パート1）をご覧になつた方もいらっしゃるかと思いますが、通学するのは



生徒さんの中には在日朝鮮・韓国人の方も少なくありません

大阪市の自治体交通に従事する労働者のほとんどが関係する、交通弱者にとつてはきわめてありがたいもう一つの当事者組織”です。「街づくりの中では、交通アクセスのバリアフリー化が時代のテーマとなつていいいま、LSCの今後の活動に大きな期待が寄せられています。

在日韓国・朝鮮人のお年寄り、障害のある方、何らかの理由で卒業できなかった方など、さまざまな人たちです。しかし理由はさまざまであつても、この人たちがいま「夜間中学

さまである理由で、中学を卒業できなかつた人たちのために設置されている夜間中学校。現在、大阪には生野、菅原中学校など10の公立夜間中学校があります。しかし、この数ではまだ充分ではなく「住まいや職場の近隣に夜間中学ができるば…」と願っている人は少なくないようです。そんな人たちのために、学校関係者がボランティアマインドを發揮し、自主的に開校・運営しているのが『自主夜間中学』です。

大阪では羽曳野市や吹田市などで開校され、当該地域の教職員組合、そして市民の皆さんとの協力で運営されています。

山田洋次監督の映画『学校』（パート1）をご覧になつた方もいらっしゃるかと思いますが、通学するのは

吹田の自主夜間中学も、そんな問題意識を持った先生方の発意で93年10月に開校されました。「当時、三島地区には夜間中学がなく、吹田在住者は守口市か大阪市の夜間中学に通うしかなかつた。そこで組合が中心になり、市民にも協力いただいて自ら開校したわけですが、生徒・スタッフとも約80名ずつでのスタートでした」と伊東利幸・吹田市教職員組合副委員長。



授業はいつもアットホーム
な雰囲気

時まで。科目は日本語・算数・英語に加えて、96年からはワープロ・パームも開設。「やはり、時代によつてニーズは微妙に変化しているし、最近では高齢者より若い人が増え、障害者、外国人労働者も少なくあります」と伊東さん。

A black and white photograph showing several people gathered around a large table covered with papers and documents, engaged in a discussion or meeting. The setting appears to be an office or study room.

ていただけ。私は、これこそがゼランティアの意味ではないかと思つていています」とも伊東さん。そして「生徒さんの“学びたい”という姿勢から、何よりも”元気”がもらえるのが嬉しい。顔を見せなくなつた生徒さんから『定時制高校で頑張ります!』という便りが届いたときなどは、本当に元気がもらえます」と続けます。

吹田市教職員組合では、この他にも毎年一回、メイシアターでの『親子映画会』の催しも続けており、卒業中学の取り組み同様、市民と一緒に地域活動になつた「地域活動」を今後も積極的に展開していく予定です。

* 『吹田自主夜間中学』では現在生徒およびボランティアスタッフ募集中。問合わせ等は左記まで。

吹田市千里山東2丁目19-20
吹田市教職員組合内
『吹田自主夜間中学』事務局

緑を守り、育むグリーンボランティア
～いま地球に、私たちができること～

松下電器産業労働組合 松下グリーンボランティア俱乐部 (MGV)

社会貢献活動では長い歴史を誇る

松下電器労組。91年の労組結成45周年記念大会では「ユニオン・シティ・ズンシップ」というスローガンを掲

唱し、「労組もまた一市民としての社会的貢献を！」という考え方を打ち出した。現在ではこのスローガンが、労働組合のボランティア活動



自然観察会は家族連れに大人気

におけるキーワードとして定着しつつあるようです。

その後、ブラジルサミットなど、地
球規模での環境問題への関心が高ま
るなか、93年に結成されたのが『松
下グリーンボランティア俱楽部』(M



鶴見緑地公園のクリーン活動

と考えて MG V を設立したわけです」と事務局長の新保市弘さん（松下電器 O B ）は語ります。

こうして MG V は、松下グループの組合員・従業員、そして松下電器 O B 、地域住民など約 7 万人が一口 1 0 0 0 円の基金を出し合い、これに会社からマッチング・ギフトを受け、1 億 5 0 0 0 万円の基金で活動を開始しました。

「いま地球に、私たちができるること」から行動を起こすことをモットーに、身近な自然に親しみ、自然の大切さを学ぶため、全国の森林組合とタイアップした植林・間伐・下草刈りなど、多彩な活動に取り組んでいます。なかでも家族連れや初心者に人気なのが、各支部で地方自治体や環境 N G O と連携して企画している緑地のクリーン活動と自然観察会。鶴見緑

地公園での活動には毎月 50 ~ 100 人の人が集まり、自然を満喫しながら、その大きさを学んでいます。また、講演会や自然フォトコンテストのほか、年 3 回、松下電器労組の保養施設「ユニトピアささやま」では、ボランティアリーダー育成のための研修や育林体験教室も行われています。そしてこれらの活動に毎年、約 4 0 0 0 人の人が参加しているとか。

さらに昨年からは、全国の支部が一緒にになって日本各地の独自で登録した 48 本の桜の開花を観測する「桜開花ウォッチング」の活動も開始。これについては「例年に比べると平均して 1 週

とテイアリーダー育成のための研修や育林体験教室も行われています。そしてこれらの人々が参加しているとか。

さらに昨年からは、全国の支部が一緒にになって日本各地の独自で登録した 48 本の桜の開花を観測する「桜開花ウォッチング」の活動も開始。これについては「例年に比べると平均して 1 週

間の早咲きでしたが、開花時期のデータ蓄積で、気象異常や環境の変化を分析しようというわけです」と新保さん。こんな活動を通じて「気候変動を実感することがライフスタイル変革の動機付けにもなると思うんです」とも。

大組織ならではの、全国ネットを活かした全体活動と、それぞれの支部が取り組む地域活動への社会的評価は高く、97 年には「豊かな環境づくり大阪府民会議」より「おおさか環境賞」の奨励賞を受賞。こうした MG V の運動は、今後もますます広がっていきそうです。

ふれあいバザールや施設慰問で 地域の障害者を支える （善意バンクから広がる交流の輪）

電力総連 関西電力労働組合 大阪北地区本部

去る 12 月 12 日（土）と 13 日（日）、南高櫻サティ 3 階「ちびっこ広場」で、第 11 回「ふれあいバザール」が開催されました。これは関電労組大阪北地区本部が主催する、地域の障害者作業所の手作り作品展示即売会です。丁寧に

月 1 0 0 円を寄付する「善意バンク」を 1985 年に設立。そして善意バンク設立記念日の 12 月 10 日が「善意の日」、10 日を含む週が「善意の週」として定められました。

この「善意バンク」の活動の一環として善意の週にこの「ふれあいバザール」が開かれます。「50 万円近く

阪北地区本部・執行委員長の下野武志さん。

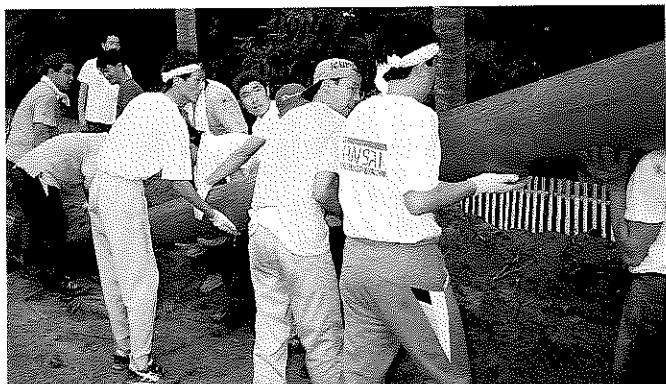


南高櫻サティさんのご協力により 11 回目を迎える「ふれあいバザール」

関電労組ではそのほかにもさまざまの行事を通して組合員と障害者の交流をはかつてきました。96 年には善意バンク 10 周年記念行事として、作業所で働く障害者と関係者 500 人を招待して「ファミリークルージング」を実施。明石海峡や関西空港沖を巡る 4 時間の船旅には、組合員を含め総勢 1200 人が参加し、組合員有志によるバンド演奏やキャラクターショーで盛り上りました。後日招待した作業所からはお礼の手紙が相次いだとか。

一方で、関電労組のボランティア

活動のフィールドは地域を越え、いまや海外にも広がっています。96年からは、飲料水パイプラインを建設する海外支援活動に本格的に着手。海外での奉仕活動を通して、人と人とのふれあいや助け合いの精神を、とくに若い組合員が実感しました。



人力と知恵を働かせたパイプライン敷設作業（フィリピン・パンダン町）

下野さんは語ります。
「フィリピンでの150m以上に及ぶパイプライン敷設のワークキャンプでは、3日間炎天下でひたすら穴を掘り、数人がかりで重いパイプを運ぶんです。粗末な食事や宿舎を我慢するなんという体験は、正直言つて今の若者には無理かなと思っていたんですね」と

障害児に夢と希望を与える チャリティー・ミュージカル ～「個性豊かに」と子どもたちへメッセージ～

日産労連 大阪地方協議会

昨年12月10日、日産労連主催のチヤリティー・ミュージカル「エルリック・コスモスの239時間」の大

阪公演が万国博ホールで行われました。このチャリティー・ミュージカルは、日産労連の年末の恒例行事と

ところが、参加した若者には、つらく苦しいワークキャンプは新鮮に映ったようです。参加者の一人は帰国後次のように書いています。「苛酷なキャンプを通して自分が一回り大きくなつた気がする。貧しくとも明るい現地の人との交流は、かけがえない自分の宝物。立派な人になれない優しい人になろうと、自分の価値観が変わった」と。ボランティアマインドを、若者たちは極限状態で身につけたと言えるかもしれません。

地域や海外でくり広げられる関電労組のボランティア活動は、さまざまなバリアを超えて、人と人との豊かなふれあいを創出しています。

今回の演目「エルリック・コスマスの239時間」はロボットを主人公とした心温まるファンタジーです。厳格な管理教育下にある未来の学校で、温かいハートをもつたロボットのエルコスが、個性を否定された子どもたちの心を開かせ、次第に人間性を回復させるヒューマン・ドラマ。

「なかでも『誰もが必ずいいものを持っている』とエルコスの歌うテーマソングが、劇団四季から小さな観客たちへのメッセージ。障害の有無

して定着しており、今回で23回目。全国22都市22会場を巡るチャリティーといいますから、その規模は相当なもの。大阪会場だけでも障害児施設の児童および保護者など約1500人が招待されました。

この大規模な文化行事の資金源は、76年に設立した福祉基金で、20万人あまりの全組合員が毎月100円ずつ拠出するもの。以前から障害者に対する「愛のカンパ」などで福祉活動を行ってきた日産労連では、この基金設立で事業規模を大幅に拡大。子どもの情緒を育む芸術のパワーに注目し、劇団四季と協力して演劇鑑賞の機会を障害児に提供してきました。



車いすを介助するボランティア



「エルリック・コスモス」の舞台

組合員は資金提供のみならず、裏方の荷物運びや会場での障害児の介助など協力します。その意義について、「たとえ年に一度であっても、裏方の日産労連のボランティア・スタッフにとって、自分と障害者との関わりを捉え直すよい機会となります」と日産労連の吉田智聰樹さんはいいます。

また、チャリティー公演とは別に、さまざまな理由から会場に足を運べない障害児のために、チャリティー・キラバーンという人形劇の巡回公演プロジェクトも。劇団「つばさ」の公演回数は89年以来昨年7月までで758回を記録し、計12万3571人の子どもたちとの演劇を通じた交流が実現しました。

連の山本好春議長。

そのほか、日産労連では内外の福祉施設に車いすやワゴン車を贈る活動や、健常者と障害者が一緒に使うスポーツの祭典「ふれあいのスポーツ広場」など、多彩な障害者福祉活動に福祉基金を充てています。

そうした活動のなかで障害者が与

えられた生を懸命に生きる姿を見ることは、組合員にとって励みにもなります。「月100円を拠出して終わりではなく、地域でもボランティア活動に積極的に参加してほしい」と最後に山本氏は付け加えられました。

労働組合が、地域に開かれた福祉施設を設立・運営

～自分たちの福祉は自分たちの手で～

情報労連 NTT労組 大阪支部

「福祉を行政に任せず、自分たちの

力で施設をつくり、実績を示して福祉の向上を国に迫っていこう！」そんなかけ声で全電通（現NTT労組）が大阪府泉南郡岬町に知的障害児施設「淡輪学園愛の家」を設立したのは約30年前のこと。

当時の電電公社（現NTT）が敷地を提供し、組合員のカンパにより設立しました。さらに96年からはNTTから2000万円のマッチング・ギフトも法人の運営経費に充てられています。

30人の障害児が共同生活を送っています。

「愛の家」では、運動会、夏休みなどの年間行事には組合員のボランティアが年間100人ほど参加し、障害児たちとふれあいます。



組合員向けの在宅介護研修講座

当時は障害児を受け入れる施設が少なく、障害児を抱える職員とその家族は社会から孤立せざるを得ませんでした。そんな仲間を救おうと、労働組合が自ら社会福祉法人をつくり、障害児施設の運営に着手。「労働組合に自分たちで社会を変えていこうとする夢とエネルギーがあふれる時代だつた」とNTT労組大阪支部副執行委員長・秦清さんは当時を振り返ります。



「ハートふる須磨」の行事に参加するボランティア

同時に、組合員にとってのボランティア活動の場として大きな役割を果たしているといえます。各支部で実施している組合員の教育カリキュラムの一環に取り入れられるほか、毎週組合員や退職者の会会員が喫茶コーナーを手伝ったり、日常的にボランティアが活発に行われています。

また、地域のNPOと協力して、外出困難な地域の高齢者への配食サービスなどを実施。労働組合の力を地域に還元し、地域と一緒にやって福祉向上をめざす取り組みは、時代のニーズに合致する、まさに先駆的な取り組みです。「介護保険開始後、地域に愛される福祉施設として利用していただきたい」と上田さんは結ばれました。



地域住民と協力し アジアの人々と連帯

「発展途上国の開発援助プロジェクトを開催」

ゼンキン連合 日本カタン労働組合



ゼンキン連合日本カタン労働組合では、アジアの発展途上国の開発援助を行っています。これまでインドネシアのスンバ島に井戸を建設するプロジェクトをはじめ、インドに2基とフィリピンに1基の井戸の建設を、またネパールにはパイプラインの設置に資金援助してきました。

日本カタン労組が、海外ボランティア活動に関わるようになったのは、

アジアの労働組合との交流を目的と

した視察旅行がきっかけでした。「そこで見た労働者の貧困は他人事とは思えませんでした。組合の新しい役目はコミュニティへの貢献といわれて久しく、それではアジアを一回り大きなコミュニティと捉え、その福祉に貢献する活動をしよう」ということになったんです」と日本カタン労働組合組合長・福島憲次氏は説明します。

88年には、ボランティアの機運の高まっていた地域住民と共に「枚方交野国際奉仕活動協会」を設立。労働組合はコーディネーターとして、現地とのやり取りや事務を担当するユニークな形の国際ボランティア活動が本格的に始まりました。

「90年は国際識字年で、アジアの中で最も識字率が低いといわれるネパールの教育振興プロジェクトをアジアを学ぶ中から進めることにしたのです。そこで貧困ゆえに小学校に行きたくても行けない子どもたちをなくそうと、奉仕活動協会では早速、里親として奨学金を送る、文房具などの教材を送る、学校建設の支援の3つを柱とした活動を開始しました」と協会事務局長・梶田孝氏は語ります。梶田氏はネパールとの間を20回

以上も往復したこのプロジェクトの責任者です。

第一段として教育改善に取り組んだのが、ジャガタ小学校。教師の自宅を寺子屋として開放したこの学校には、当初20人の生徒が学んでいました。ここで恵まれない子どもたちを受け入れようと、文房具や奨学金を送ることから始めたところ、生徒は数年で倍増。そこで協会ではジャガタ小学校の先生方とも話し合って新しい学校の建設プロジェクトを立ち上げます。

ネパール側の学校建設を支援するという基本姿勢で、総工費750万円のうち、ネパール側が25%、協会側が75%を出資。組合員を含めのべ140人あまりのボランティアたちが12回にわたってネパールとの間を往復し、建設作業を手伝いました。



ワークキャンプに参加した枚方交野国際奉仕活動協会のメンバー

「現地の人たちと共に汗を流し、働くことで得られる充実感は大変大きいのです。そこで培われる厚い友情や信頼関係に魅せられて、私のようにネパールにのめり込んでしまう人もいるくらい（笑）」と梶田氏。

こうして完成した3階建て18教室の校舎ではいま300人余りの生徒が学んでいます。同協会ではそのほか2つの学校の建設や増築を援助し、そこで学ぶ里子たちも280人にのぼります。また最初に里子の縁組みをした低学年の子どもたちは、日本の里親たちと英語で文通できるほどに成長しました。地道な教育支援活動は、豊かな実りを見せていました。

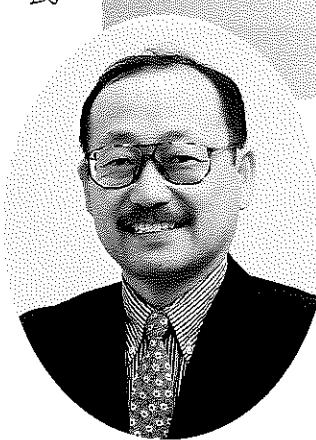


ジャガタ小学校建設の様子

◆特別インタビュー

労組のボランティア活動は、組合員のQOLを高めることになる。

関西大学 社会学部教授・松原一郎氏



●ボランティア活動は、企業内ではできない、もう一つの「職能教育」

最近では、労働組合がボランティアなど、社会貢献活動に取り組むことが珍しくなってきました。本来、労働者の権利擁護のために存在する労働組合が、なぜそういった活動に取り組むのか。違和感があるかもしれません、しかしそこには、それなりの理由と必然性があるのです。

直さず、職業人としてのエンブロイエーリティ、すなわち「職能」を高めることに他なりません。もちろん、エンブロイエーリティを高めるための教育・研修は多くの企業で実施されているわけですが、こうした通常の企業内研修メニューではなかなか身につかない能力、それはコミュニケーション能力、ネゴシエーション（交渉）の能力、コーディネーターとしての能力などと言つていいかもしれません、それらが、活動に取り組むことで身についてくる。

まず、労働組合が社会貢献活動に取り組むことは、労働者の「生活の質」(QOL=Quality of life)を高めることに大いにつながる；と私は考えています。どうしたことかと言うと、ボランティア活動を通じて視野を広げ、自律性を身につけ、豊かな人間性を養うということは、取りも

●アントレプレナー・シップ（起業家精神）が身につく！？

業家）と言つてもいいのですが、ボランティア活動に取り組むと、好むと好まざるとに問わらず、自然とそういう能力が身に付いてくるものです。

いま、企業社会で雇用調整（リストラや業務のアウトソーシング化）が進んでいるのは皆さんご承知のことですが、しかし労働市場は依然として硬直化しています。すなわち、将来の発展部門への労働力移入がなかなか促進されない。福祉や介護、環境といった、これから発展分野での雇用促進を図るためにも、また「内部労働市場」と「外部労働市場」の双方を活性化させるためにも、くり返しになりますが労組のボランティア活動は大きな意味をもつてくるわけです。

個人がいきなり何かを始めるのは難しいのですが、労働組合のプログラムが、活動の「きっかけづくり」となって、個人が地域社会にコミットするためのチャネルとして機能する。結果、その人のエンブロイエーリティが大いに高まる。労組のボラ

ンティア活動は、個人と社会にとつて、そうした「評価すべきメリットがある」と私は考えています。

●公益事業の、新しい事業主体としての労働組合の可能性

さて、いま日本の労働組合費は、ざつと年間7000億円もあると言われています。それだけの予算がある非営利組織はけつして多くはないと思うのですが、「労働組合もまたNPOである」と考えたとき、この財力を武器に、公益性をもった社会的事業を労働組合が手がけていくことの可能性についても考えてみたいと

思います。

本誌の8ページでも紹介されているNTT労組のように、労働組合が社会的事業の事業主体として活動している例はあるのですが、これは、このこと自体に社会的意味があるし、「雇用のセイフティーネット」と関連して言えば、組合員が失業したときの「受け皿」にもなる。それは言い換えるれば、失業を経ない転職のためのクッションの役割を果たすことである。個々の組合員にすれば、組合費を払う見返りに、いざというとき、組合が自分を助けてくれるんだという認識を持つことにもつながる。そのことが組織率のアップにつながるかも知れません。

いま、労働組合の組織率は22・4%にしか過ぎません。つまり5人に1人しか労働組合に入っていないわけです

が、これは組織としての労働組合に魅力がないからでしょう。そんななかで、これからは労働組合も古い体質を捨てて、社会に開かれた魅力ある組織を目指していく必要がある。その際力がないからでしょう。そんななかで、

リストラ、倒産、雇用不安、高齢化問題など、不安要素は増えるばかりですが、もはや行政にも企業にも市場にも期待できる状況ではないとするなら、その役割を労働組合が担うというのは当然というか、それこそ本来の姿といつてもいい。なぜなら、

そもそも労働組合は働く人間の人権と生活を守り、生活の質を高めるためにあるのですから、まったく矛盾するものではない。今までそういう視点がなかつただけの話なのです。

これからは、時短が進んでいくなかで、拡大した自由時間を積極的に利用し、人脈づくりなど、価値創造型の余暇利用で新しいビジネスを「起業」していく高齢者や女性が増えいくでしょう。社会的にも大変望ましいことですが、結果として「ボランティアでのトレーニングが、それをバックアップ」する。労働組合の社会貢献活動、ボランティア活動には、そんな社会的・歴史的意味があるのではないか。

労働組合とは、既存セクターの中の巨大なNPO

(財)連合総合生活開発研究所が、阪神淡路大震災の年の95年から翌96年にかけて行った調査によると、震災に際して何らかの支援救済活動に協力した組合員は82%にも達し、なにもしなかつた人は17%に過ぎなかつたといいます。また、その後も日常的にボランティアに参加している人は3人に1人でありを見せていくようです。

この特集では紹介できませんでした

が、環境美化に取り組む活動(ゼンセン同盟大阪府支部、自治労津市職労連など)、障害者が自由に旅行できる環境づくりに取り組む活動(ホテル労連・観光労連)、ラオスの子どもたちに絵本を送る運動(自治労大阪府本部)、また台湾語と北京語による電話相談(松下電工労組本社総合支部)など、多くの組合が、それぞれの特徴を活かし、多彩な活動を展開しています。

こうした労働組合の社会貢献活動、との持つ影響力、社会的意味はきわめ

体が社会的意味を持つわけですが、同時に私たちが注目したいのは、労組であれば官公労にせよ民間労組にせよ、それは行政という第1セクター、企業という第2セクターの、すなわち既存の大きな力を持つパワーセクターの中

で大きいと言えるのではないでしょうか。NPOやボランティアへの注目が高まるなか、今後とも労組のボランティア活動にエールを送り、熱い視線を注いでいただきたいのです。

今回の特集に際しては、連合大阪の政治部長・石黒博俊氏より助言と情報提供をいただきました。記してお礼申し上げます。

ボランティア活動は、もちろんそれ



ボランティア

Vクリッピング ボード

ボランティアをやってみたい!
そんなあなたに耳寄りな情報満載

〈ご利用にあたって〉

ボランティア活動へ参加を希望される方は、事前に各団体にお問い合わせの上、条件等を話し合ってから、参加してください。

●このコーナーに記載の情報はホームページでもご覧になれます。

<http://www.ovnet.or.jp/>



3

電動車イスサッカーチームで
ボランティアを募集します。

活動内容 身体障害者によるサッカーの試合で、主に用具の片づけ、ボール拾い、審判、記録係などを手伝ってください。

日 時 毎週日曜日 17:00 ~ 20:00

場 所 大阪市長居障害者スポーツセンター
(大阪市東住吉区長居公園1-32)

JR阪和線 長居駅 徒歩3分

地下鉄御堂筋線 長居駅 徒歩5分

募集対象 高校生以上、初心者・グループ・親子での参加
歓迎

問合せ先 TEL/FAX 06-6303-6688

E-MAIL 1204@super.win.ne.jp

大阪ローリングタートル(担当/大代)

1

子どもたちが心豊かに育つよう
保育のお手伝いをしてください。

活動内容 子どもたちの遊び相手やスポーツ、芸術の指導、食事、排泄の介助等を保母と一緒に手伝ってください。

日 時 月~土 7:30 ~ 20:00

場 所 ひなぎく保育園

(堺市庭代台2-9-38)

泉北高速 梅 美木多駅 徒歩15分

募集対象 中学生以上、成人(概ね10~50歳代)、初心者・外国人歓迎

費 用 食事支給、交通費実費必要

問合せ先 TEL 0722-98-4980 FAX 0722-98-4800

ひなぎく保育園(担当/溝端文子)

4

商店街の中の福祉の店づくりです。
あなたのアイデアで飾ってください!

活動内容 知的障害者の外出介助、交流、ふれあい活動、パソコン指導など

日 時 火~土

場 所 大阪市東住吉区駒川15-15-3 西川ビル2階

レインボー

近鉄 針中野駅 徒歩2分

地下鉄谷町線 駒川中野下車 徒歩12分

募集対象 高校生以上(概ね10~50歳代)

費 用 宿食代として450円支給

問合せ先 TEL 06-6691-7001

E-MAIL rainbow7@po.ainnet.ne.jp

Welfare Shop Rainbow(担当/佐藤裕子)

2

中国の日本語学習者との
交流旅行の参加者を募集。

活動内容 日本語を学んでいる上海の大学生の日本語の練習相手になりながら、上海市内を案内してもらう国際交流です。

日 時 3月30日(火)~4月5日(月)

場 所 上海理工大学日本語学科(中国 上海市)

募集対象 専門学校生以上、成人(概ね10~20歳代)

費 用 学生40000円 一般52000円

上海滞在時に1ドルが130円をこえた場合は差額が必要になります。

注) ビザの取得は、お近くの旅行代理店か、クラブへ手配を依頼して下さい(要1万円)。

問合せ先 TEL 06-6301-0739 FAX 06-6301-4923

日中文通クラブ(担当/藤井基義)

申込締切日 3月29日



Vクリッピングボード

8

知的障害のある子どもと放課後、一緒に遊んでくださる方を募集。

活動内容: 普通学校に通う知的障害児と放課後、遊んでくださる方を募集しています。
日 時: 月、木、金 14:30～16:00
水 13:00～16:00
場 所: 羽曳野市南恵我之荘
 近鉄南大阪線 恵我之荘駅 徒歩10分
募集対象: 小学生以上(概ね10～20歳代)、初心者歓迎
問合せ先: TEL 0729-58-2315 FAX 0729-58-3853
 羽曳野市ボランティアセンター
 (担当／沖上 あゆみ)
申込締切日: 3月31日

5

高齢者の生活介助を手伝ってくださる方を募集します。

活動内容: 高齢者の生活介助および外出介助、交流、ふれあい活動、動植物の世話、園芸活動
日 時: 応相談 9:00～17:00
場 所: 特別養護老人ホーム あじさいの里
 (大阪市生野区勝山北3-13-20)
 J R 大阪環状線 桃谷駅 徒歩13分
募集対象: 一日4人から最大8人までを募集します。
費 用: 昼食はできれば、入居者と同じものを
 (自己負担370円)
問合せ先: TEL 06-6716-1199 FAX 06-6716-1100
 (社) 愛生会特別養護老人ホーム あじさいの里
 (担当／田辺正治、小林早智子)

9

障害者施設で牛乳パックのリサイクル活動を手伝ってくださる方を募集。

活動内容: 知的障害者の施設からの送迎、リサイクル活動
 (手すきハガキと名刺づくり)、スタッフ補助
日 時: 月～金 9:30～16:00
 (午前、午後のみだけでも可)
場 所: 大阪市平野区加美北6-10-25
 J R 大和路線 平野駅 徒歩10分
問合せ先: TEL 06-6794-3871
 紙再生工房 (担当／中村秀美)

6

ソロモン諸島の人権プロジェクトと一緒に支援しませんか。

活動内容: 国際協力や人権に関する催事や講座の企画・運営、事務作業、軽作業、現地ソロモン諸島国に行ってワークショップを見学。
日 時: 月1～2回
場 所: 大阪市北区神山町11-12 大阪YWCA
 J R 大阪駅 徒歩5分
 地下鉄堺筋線 扇町駅 徒歩5分
募集対象: 高校生以上、初心者、グループでの参加・外国人歓迎
費 用: 交通費自己負担
問合せ先: TEL 06-6361-0838 FAX 06-6361-2997
 E-MAIL ywca-osk@jca.ax.apc.org
 れあなたの会運営グループ (担当／雀部(さざべ))

10

中高年者による社会貢献活動に参加しませんか。

活動内容: 高齢者の生活介助、外出介助、交流、話し相手、遊び相手、朗読、語り、運動、送迎
日 時: 月～土 9:00～18:00
 会員の利用者の要望によります。
場 所: 大阪市中央区谷町1-3-1-804
 地下鉄谷町線 天満橋駅 徒歩5分
募集対象: 原則50歳以上
費 用: 年会費4000円。交通費は全額支給。
 活動時間を時間預託します。
問合せ先: TEL/FAX 06-6947-0411
 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
 大阪支部いちょうの会 (担当／広岡芳康)

7

チャリティー古着物市のための手作りボランティア募集。

活動内容: 「北摂に療護施設をつくる会」の資金づくりの一環として古着市を行います。これは古着物を再利用するリサイクルの取組みでもあります。そこで(1) 着物をほどいてくださる方、(2) 着物を洋服や小物に再生させる「手作り」をしてくださる方を募ります。
日 時: 4月18日の古着市までは随時募集しています。
場 所: 箕面市立障害者センター「ささゆり園」
 (箕面市西小路3-9-9) 他自宅でも結構です。
 阪急 牧落駅 徒歩10分
募集対象: 年齢、性別不問
問合せ先: TEL 0727-51-7292
 北摂に療護施設をつくる会 (担当／寺澤弘子)
申込締切日: 3月30日

**14**

音楽・陶芸などの活動を通して知的障害者と交流しませんか。

活動内容: 知的障害者との交流、話し相手、遊び相手、物品収集・寄贈、演奏、歌、芸能、取材、著述、編集、デザイン、自然環境の保全、リサイクルなど盛りたくさん

日 時: 月～金 9:00～16:00

場 所: 大阪市中央区玉造2-3-20
JR大阪環状線 玉造駅 徒歩5分
地下鉄長堀鶴見緑地線 玉造駅 徒歩5分

募集対象: 専門学校生以上、成人(概ね30～60歳代以上)

費 用: 食事は用意します。交通費は自己負担

問合せ先: TEL/FAX 06-6943-6943
障害者福祉作業所 自由工房 まんぼう
(担当／西村マコト)

15

歌体操ボランティア活動を始めませんか。

活動内容: 高齢者などの地域住民を対象とした交流、話し相手

日 時: 定例会は毎月第3水曜日
月～金 午前あるいは午後のみ

場 所: 大阪市福島区海老江6丁目2-22
あいあいセンター
JR東西線 海老江駅 徒歩10分
阪神 野田駅 徒歩10分
地下鉄千日前線 野田阪神駅 徒歩10分

費 用: 年会費1000円

問合せ先: TEL 06-6454-0531 FAX 06-6454-6331
歌体操グループ「ふじの花」(担当／浜本道子)

16

高校生のみなさん、障害者と交流するワークキャンプに来ませんか？

活動内容: 大阪府立金剛コロニーで5泊6日のワークキャンプです。つるはしや一輪車を使っての環境改善や知的障害をもつ方々との交流など楽しいプログラムが一杯！

日 時: 3月28日(日)～4月2日(金)
※事前説明会は3月6日です。詳細はお問い合わせください。

場 所: 大阪府立金剛コロニー(富田林市)

募集対象: 高校生(今春、卒業・入学の人も含む)

費 用: 7500円(含む食費、シーツ・クリーニング代)

問合せ先: TEL 06-6357-5741 FAX 06-6358-2892
(福) 大阪ボランティア協会(担当／永井)

申込締切日: 定員になり次第(定員25名)

11

18歳以上の知的障害者の通所施設でボランティアを募集。

活動内容: 知的障害者の外出介助、交流、話し相手、遊び相手、スポーツ指導、園芸指導

日 時: 月～金 9:00～16:00
土 9:00～13:00

場 所: 大阪市生野区小路3-19-19
地下鉄千日前線 北巽駅 徒歩5分

募集対象: 専門学校生以上(概ね10～50歳代)

問合せ先: TEL 06-6753-1121 FAX 06-6753-1123
(福) いわき学園 いわき生野学園
(担当／繁岡 稔和)

12

障害者と一緒に絵を描いたり、外出行事を楽しみませんか？

活動内容: 障害者の外出介助、交流、話し相手、遊び相手、芸能、スポーツ

日 時: 月～金 9:00～16:00
(参加時間は自由です)

場 所: 大阪市生野区中川西3-1-33
JR大阪環状線 桃谷駅 徒歩20分
地下鉄千日前線 今里駅 徒歩20分

募集対象: 高校生以上(概ね10～50歳代)
定員は特にありません。

費 用: 交通費一律支給

問合せ先: TEL/FAX 06-6716-1699
山ざる組 ちっぴり(担当／大島 恵)

13

乳幼児の保育補助や簡単な大工仕事を手伝ってください。

活動内容: 乳幼児の外出介助や保育、日曜大工、スタッフ補助をお願いします。

日 時: 月～日 7:00～19:30の間で、数時間お手伝いをしてください

場 所: すみれ乳児院(大阪市城東区古市1丁目20-80)
地下鉄長堀鶴見緑地線 今宿鶴見駅 徒歩7分
京阪線 関目駅 徒歩15分
市バス(31番)新森公園行 関目2丁目バス停
徒歩5分

募集対象: 高校生以上、成人(概ね30～60歳)

問合せ先: TEL 06-6931-3873 FAX 06-6931-8637
すみれ乳児院(担当／春名)



Vクリッピングボード

20

「みんな集まれ!ボランティア」祭の参加者募集。

活動内容: ボランティア活動者の祭典「みんな集まれ!!ボランティア」への出店者と、ステージに出演して祭を盛り上げてくださる方を募集します。ボランティアグループの方、どしどしご応募ください。

日 時: 5月16日(日) 11:00 ~ 15:00
場 所: 茨木市役所前 中央公園北グランド(茨木市駅前3-9)

JR京都線 茨木駅 徒歩10分
阪急京都線 茨木市駅 徒歩10分

費 用: 交通費、食事代は各自でご負担ください
問合せ先: TEL 0726-27-0033 FAX 0726-27-0434
茨木市ボランティア連絡会(担当/石橋)

申込締切日: 3月31日

21

プレイパークで子どもたちと遊んでくれるリーダーを募ります。

活動内容: 子どもたちと一緒に元気一杯遊んでいただけるボランティアを募集しています。

日 時: 長期の活動で、活動日は相談のうえ決定します。
日中(18時まで)、夕方~夜(18時以降開始)の活動があります。

場 所: 高槻市大字奈佐原「大阪府衛生会健康の里」
JR京都線 摂津富田駅または
阪急京都線 富田駅からバス20分 「奈佐原」
バス停下車

募 集 対 象: 高校生以上(概ね50歳代まで)、初心者・グループ・外国人・親子での活動歓迎
費 用: 交通費は自己負担、昼食もご持参ください

問合せ先: TEL 0726-96-0015 FAX 0726-93-9737
(福)大阪府衛生会健康の里(担当/北島康生)

22

子育てサークルの協力者を求めています。

活動内容: 子どもの交流・話し相手・遊び相手、講習会などの時の保育をお願いします。

日 時: 月1回程で長期の活動をお願いします。日時は活動者の都合に合わせます。

場 所: 高槻市内のコミュニティーセンター、公民館など
募 集 対 象: 専門学校生以上、初心者・グループでの参加歓迎
問合せ先: TEL/FAX 0726-83-2200
高槻市ボランティアセンター(担当/松永、人見)

17

緑の募金の森づくり作業に参加を!!

活動内容: 緑の募金活動で集まったお金を使って、泉佐野市の稻倉池周辺での植栽を行います。

日 時: 3月21日(祝)

場 所: 泉佐野市稻倉池周辺

問合せ先: TEL 06-6260-3580 FAX 06-6260-3581

(財)大阪みどりのトラスト協会(担当/内本)

* 参加を希望される方は電話で申し込んでください。詳細な資料を送ります。

18

骨髓バンク事業推進のバザーを手伝ってください。

活動内容: 「リサイクル & リユースマーケット再彩市場 in OSAKA」に不要品を提供してくださる方、および当日バザーを手伝ってくださる方を募集。

日 時: 4月3日(土)~4日(日)

場 所: インテックス大阪
地下鉄四ツ橋線 住之江公園駅よりニュートラム線 中心頭駅
地下鉄中央線コスモスクエア駅よりテクノポート線 中心頭駅

募 集 対 象: 高校生以上、初心者・グループ・外国人・親子での参加歓迎

費 用: 交通費自己負担、食事なし(入場料は無料です)

問合せ先: TEL/FAX 06-6977-2123
関西骨髓バンク推進協会(担当/福田とみえ)

19

障害者入所施設でパソコン講師を募集。

活動内容: 障害者の療護施設「堺福泉療護園」でパソコン教室を行なっており、その先生のボランティアを募集しています。月に1~2回定期的に施設を訪問して、2~3時間程度、障害者にパソコン操作等について教えてください。

日 時: 現在の開講日は木、土ですが、相談に応じます。
都合がつく時だけでいいです。

場 所: 堀福泉療護園(堺市東部341)
JR阪和線 鳥羽駅 徒歩20分

募 集 対 象: 高校生以上、初心者・グループでの参加歓迎

費 用: 交通費は全額支給
問合せ先: E-MAIL fwhn5691@mb.infoweb.ne.jp
ライフ・ネットワーク(担当/池田 隆)

1月17日は「防災とボランティアの日」。この日に何なんぞ、15日と16日、大阪と西宮において二つの催し（主催／国土庁、大阪府、日本赤十字社、大阪府社会福祉協議会ほか）が開催されました。

高校生防災ボランティアスクール in OSAKA



市営住宅の高齢者を会場まで誘導



被災者の体験談を交えた懇親会

**西宮市市営住宅で炊き出ししゃ
キッズプラザ運営を通して
被災者と交流**

1月15日には、全国から38名の高校生が参加して高校生防災ボランティアスクール in OSAKAが、オオサカサンパレスと西宮市高須町市営住宅において開催されました。これは、防災ボランティアに関する講義、疑似体験、グループディスカッションを通して、高校生に防災意識を啓発する催しです。参加者たちはまず、オオサカサンパレスに集合し、リーダーによる講義で防災ボランティア活動に関する基礎知識を学びました。その後バスで西宮市市営住宅に移動して、3班に分かれて

1月15日には、全国から38名の高校生が参加して高校生防災ボランティアスクール in OSAKAが、オオサカサンパレスと西宮市高須町市営住宅において開催されました。これは、防災ボランティアに関する講義、疑似体験、グループディスカッションを通して、高校生に防災意識を啓発する催しです。参加者たちはまず、オオサカサンパレスに集合し、リーダーによる講義で防災ボランティア活動に関する基礎知識を学びました。その後バスで西宮市市営住宅に移動して、3班に分かれて

炊き出し班は豚汁と焼き込みご飯の材料を切ることから始めます。200人

せん。豚汁づくりも豪快で、熱い湯の方々に千羽鶴を贈呈した後、班ごとにリーダーの指示に従って行動開始。

慣れないと手つきで炊き出しの準備

住宅内の共用スペースの清掃、炊き出し、そしてキッズプラザでは震災によってダメージを受けた子供の心を元気づけるために親睦活動を行いました。なにしろ4時間足らずの超過密スケジュール。バスで現地に到着し、住民の方々に千羽鶴を贈呈した後、班ごとにリーダーの指示に従って行動開始。

炊き出し班は豚汁と焼き込みご飯の材料を切ることから始めます。200人せん。豚汁づくりも豪快で、熱い湯の方々に千羽鶴を贈呈した後、班ごとにリーダーの指示に従って行動開始。

「ボランティアは自己犠牲ではなく楽しい」

その後は再び大阪に戻り、3時からは防災ボランティアについてこれまで考えたことや当日の講義、体験を通して考えたことについて、リーダーを交えて



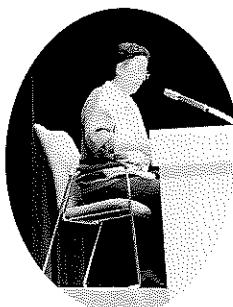
オオサカサンパレスにおけるディスカッション

デイスカッションを行いました。そこでは、「被災者からお礼を言われたり、微笑みかけられたとき、心が通じたと感じた」「ボランティアは自己犠牲ではなく楽しい」「震災の時ボランティアに参加できなくて残念。活動に参加する勇気が出た」など、被災者との交流を通じて「ボランティアへの関心が高まった」などの意見が聞かれました。

参加者のうちただ一人、震災を経験した芦屋高校の川崎史歩さんからは、「活動の中で部屋が狭いとか不平を言う人がいたが、実際の災害の場合に恵まれた環境でボランティアできることなどあり得ない」と、経験者ならではの意見が出る一場面も。

被災者の体験談を交えた懇親会

他人の痛みを完全に理解することは無理でも、熱い思いと想像力で足りない部分を補うことができます。川崎さんの意見や被災者の体験談は参加した



小山内美江子さん

高校生たちに、防災ボランティア活動について深く考える材料となつたようです。

翌16日には、前日の高校生の代表も交え、大阪梅田のオーバルホールにおいて「防災とボランティア」を考えるシンポジウムが開かれました。開催にあたり、まず、ヨルダン難民救済の国際ボランティア活動の指揮でも知られるシナリオライターの小山内美江子さんの基調講演がありました。

小山内さんが主宰するJHP (Japan Team of Human Power) は海外ボランティアを専門に行う団体です。その活動に参加している大学生を中心としたボランティアたちが震災時に被災地入りした時は、JHPの活動で培われた知恵と行動力が非常に役立ったとか。

【例え、ある青年はドライバーとし

高校生たちに、防災ボランティア活動について深く考える材料となつたようです。

『物資輸送ならできる』など、自分の得意分野で協力していけばいい』(石井)

“防災とボランティア”を考えるシンポジウム

「若者たちの防災ボランティア活動から学ぶ」

海外ボランティアは 若者の学びの場

翌16日には、前日の高校生の代表も交え、大阪梅田のオーバルホールにおいて「防災とボランティア」を考えるシンポジウムが開かれました。開催にあたり、まず、ヨルダン難民救済の国際ボランティア活動の指揮でも知られるシナリオライターの小山内美江子さんの基調講演がありま

て診療所に医者を連れて行き、医者が診療している間は瓦礫の下に取り残された人のいる地点を把握するために歩いてマップづくりするなど、無駄なくよく働いた」と小山内さん。

現地入りしたものの、立ち往生した新米ボランティアも多かった中、自分の役割を自主的かつ臨機応変に見いだせる力は、JHPの若者たちを際だたせるものでした。「海外ボランティア活動は若者を鍛える格好の場」と結ばれました。

〈パネルディスカッション〉 若年層へのボランティア活動の 広がり

防災ボランティアに問われる 専門知識

パネルディスカッションでは、「被災地側に迷惑をかけないよう少なくとも手弁当で参加する」(室崎)、その上で「被災地で役立つ技術や技能を持つていることが望ましく」(室崎)、「ボーリングカウトや青少年活動に親しんできた若者なら緊急時にも対応しやすいのではないか」(西川)と専門的な訓練の必要性を強調する声が出ました。

しかし専門性が間口を狭めるこ



防災ボランティア活動における 若者のリーダーシップを育てる

焦点となつた活動におけるリーダーシップの養成については、指導者の責任が問われています。「多くの青年ボランティアを受け入れるために、現場でも参加者の専門知識や経験に応じて、かかるべき機関がコーディネーションをするのが望ましい。どんな思いも受けとめられるボランティア活動を」(笠原)という意見が。それに対して、「前日のボランティアスクールでも、残念ながら高校生の自発性が十分發揮されず、トップダウン方式で年長のリーダーが彼らをまとめた。規律を要する防災ボランティア活動では、若者の自主性のみに任せていいのか」(石井)という疑問も投げかけられました。

議論は尽きませんがパネリストに共通する思いは、昨夏栃木県で起きた土砂災害時に見られた若者のボランティア活動に言及した山田さんの次の言葉に凝縮されるのではないかでしょうか。それは、「災害ボランティア活動を通して知った仲間との連帯感や被災者の痛みはいつか役立つ」というもの。今後とも、さまざまなか形での若者へのボランティア活動の啓発が大切であることを確認したシンポジウムでした。

とにつながつては、ボランティアの主旨から外れることにもなり、「『雑巾だけたら100枚作って送れる』とか『物資輸送ならできる』など、自分の得意分野で協力していけばいい」(石井)という意見も。

第7回 おおさかボランティアフェスティバル開催

「楽しさとやさしさがひとつになつて花ひらく」をテーマに

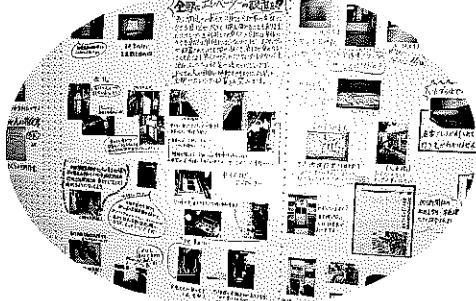
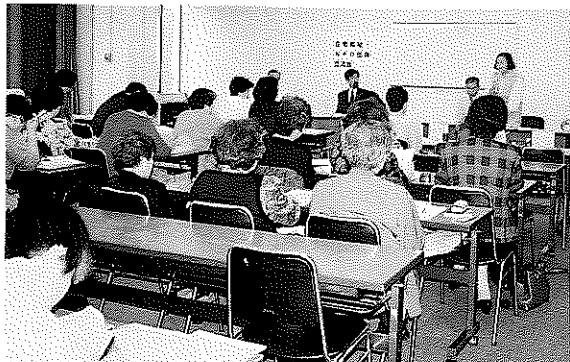
去る11月4日、第7回「おおさかボランティアフェスティバル」が、大阪府立青少年会館（森ノ宮）で開催されました。

今年は、「楽しさとやさしさがひとつになつて花ひらく」をテーマに、約2000人が交流。活動交流会、芸能フェスティバルを中心に、写真パネル展示や即売が行われ、日頃のボランティア活動の成果が発表されました。また、映画「友情」も同時上映。

活動交流会では、学生ボランティア交流会、福祉マップづくり交流会など、6つのテーマに分かれ討論。活発な意見交流が行われました。

芸能フェスティバルでは、人形劇、大正琴、歌と踊りなど、華やかな演技が披露され、盛んな拍手に包まれました。

活動交流会



「福祉マップづくり交流会」

芸能フェスティバル



展示コーナー



歌と踊り、人形劇、マジック、紙芝居、大正琴、軽音楽など、日頃の演技を披露

さまざまな自助具を展示



熱心に演技を見入る観客たち

東大阪市ボランティア基金 チャリティーコンサート 「風のうた 島のうた 大地のうた」

「東大阪市ボランティア基金」は福祉の町づくりを目指して、ボランティアセンター事業を積極的に推進していくためのものです。ボランティア活動の発展を願い、コンサートの収益金をボランティアの育成事業等に活用することを目的としています。

日時／3月19日（金）午後6時30分開演

場所／東大阪市立市民会館 市民ホール（近鉄奈良線永和駅）

内容／南ぬ風人・まーちゃんバンドによる唄と三線の「コンサート」

入場料／一般 前売り1,300円（当日1,500円）
学生 前売り700円（当日800円）

主催／（社）東大阪市社会福祉協議会
申込み・問い合わせ／東大阪市社会福祉協議会・ボランティアセンター
TEL 072-7155054

東大阪市高井田元町1-2-13

東大阪市立総合福祉センター内

TEL 06(6780)55550
FAX 06(6780)5601

精神保健市民講座

この病にならながらも、当たり前の生活をしたいと願う人たちを支える市民の活動が期待されています。皆さんも一緒に「この病」について考えてみませんか。

日時／3月3日～24日の水曜日 午後1時30分～4時

場所／柏原市フローラルセンター

内容／講義（グループ討議）

- 第一回 3月3日（水）
「ボランティア活動とは」
- 第二回 3月10日（水）
「この病」
- 第三回 3月17日（水）
「私たちの思い」
- 第四回 3月24日（水）
「私たちの活動」

平成10年度ボランティア連絡会の交流会として、生きるとは何かを描いた映画「友情」を上映します。ボランティアに関心のある市民の参加を歓迎します。

日時／3月8日（月）午後1時30分～4時

場所／メイシアター中ホール

内容／映画「友情」の上映

参加費／300円

主催／吹田市ボランティア連絡会
後援／吹田市保健部

- 申込み・問い合わせ／吹田市ボランティア連絡会 奥井まど
TEL 06(6338)0878
- 講師／阪南市精神保健ボランティアグループ
「はあと会」メンバー

主催／大阪府八尾保健所柏原支所
共催／柏原市・柏原市社会福祉協議会
申込み・問い合わせ／大阪府八尾保健所柏原支所 手帳課
精神保健福祉相談員 吉田まど
TEL 072-29(7-1)-2001
FAX 072-29(7-3)-2240
電話かFAXでお申込みください。

※なお、日本へ、ご家族については別のアコムがありますのでお問い合わせください。

点詞性ボランティア研修会 ～明日に羽ばたくパンコン点詞性データワーク～

府内の点詞性ボランティアの方々に最新のパンコン点詞性ソフトの使い方とパソコン点詞性データワークの現状を紹介とともに、ネットワークへの参加の可能性について検討する研修会です。

日時／3月9日（火）午前10時30分～午後4時30分

場所／日本ライトハウス盲人情報文化センター 9Fホール

内容／● 講演「視覚障害者のニーズとパンコン点詞性データワーク」
講師 なつーふねット事務局長 岩井和彦氏

● 実演「パンコン点詞性データワークの実際と利用状況」
講師：ないーぶネット事務局員 木下美佐子氏

● 実演「パンコン点詞性ソフト（Win-BES、つらんぱー）」の
上手な使い方

● 指導アシスタント紹介、パンコン点詞性体験・パンコン通信
体験

● パンコン点詞性データワークに取り組むの話／申込

参加費／500円
定員／60人

主催／（社）大阪府社会福祉協議会・大阪府ボランティアセンター、
(社)日本ライトハウス盲人情報文化センター

申込み・問い合わせ／所定の申込書により、3月1日までに大阪府ボランティア
センター（TEL 06(6441)0016 FAX 06(6441)0039）へ
お申し込みください。

問合せ／（社）日本ライトハウス盲人情報文化センター
TEL 0550-00002 大阪市西区江戸堀1-13-2

申込み・所定の申込書により、3月1日までに大阪府ボランティア
センター（TEL 06(6441)0016 FAX 06(6441)0039）へ
お申し込みください。

問合せ／（社）日本ライトハウス盲人情報文化センター
TEL 0550-00002 大阪市西区江戸堀1-13-2

申込み・問い合わせ／（社）日本ライトハウス盲人情報文化センター
TEL 06(6441)0016 FAX 06(6441)0039

吹田市ボランティア連絡会の交流会 「みんな集まれ!! ボランティア」

ボランティア活動推進を目的としたボランティアの集いを下記の要領で開催します。

日時／5月16日（日）午前11時～午後3時

場所／茨木市役所前中央公園南グラウンド

内容／模擬店（バザー、ミニコンサー、各種体験「一ナーナー、
ボランティア活動パネル展示など）

参加費／無料

主催／茨木市ボランティア連絡会
問い合わせ／茨木市ボランティアセンター
TEL 072-9726000 (27) 00033

平成11年度 ボランティア総合補償制度のご案内

ボランティアおおさか
1999年 WINTER 第16号

発行／(福)大阪府社会福祉協議会

大阪府ボランティアセンター

〒542-0065

大阪市中央区中寺1丁目1-54

大阪社会福祉指導センター内

FAX 06(6766-2)99679

		ボランティア保険		
補償内容		ボランティアがボランティア活動中に①偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」、②第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」、③ボランティア活動中に死亡し、「傷害保険」の給付対象にならない場合の「死亡見舞金」の3つの制度がセットされています。		
補償金額	傷害部分	Aプラン		Bプラン
		死 亡 1,052.8万円		死 亡 1,870.1万円
		後遺障害 31~1,052.8万円		後遺障害 56~1,870.1万円
		入院 (1日あたり) 5,000円		入院 (1日あたり) 8,000円
補償金額	賠償部分	通院 (1日あたり) 3,000円		通院 (1日あたり) 5,000円
		手術保険金 (1事故1回) 5~20万円		手術保険金 (1事故1回) 8~32万円
		最高 3億円 (免責1千円)		最高 3億円 (免責1千円)
		死亡 30万円		死亡 30万円
掛金	ボランティア1名 (年間) 300円		ボランティア1名 (年間) 500円	ボランティア1名 (年間) 2,000円
	※中途加入の場合も300円		※中途加入の場合も500円	※中途加入の場合も2,000円

		こども保険		ボランティア活動行事保険	
補償内容					
地域で活動しているこどもを中心としたグループが主催する行事参加中に参加者であるこどもが偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」の制度です。 (宿泊をともなう行事は対象外ですから、右の活動行事保険(Ⅱ型)で加入して下さい。)				ボランティア行事参加中に、①参加者が偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」と②主催者または、参加者が第三者(他の参加者も含みます)の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」の2つの制度がセットされています。	
補償金額	傷害部分	死 亡 500万円	●ハイキング参加中、交通事故でケガをした。	死 亡 500万円	●キャンプ参加者が転倒して骨折した。
		後遺障害 15~500万円	●ソフトボール大会参加中、つきゆびをした。	後遺障害 15~500万円	●運動会参加者が足をねんざした。
		入院 (1日あたり) 3,000円		入院 (1日あたり) 3,000円	
		通院 (1日あたり) 2,000円		通院 (1日あたり) 2,000円	
補償金額	賠償部分	手術保険金 (1事故1回) 3~12万円		手術保険金 (1事故1回) 3~12万円	
				対 人 1名あたり 最高 1億円 1事故あたり 最高 2億円	●ハイキング参加中、参加者が誤って後続の参加者にケガをさせた。
				対 物 1事故あたり 最高 500万円	●キャンプ参加中、誤って他人の用具を壊してしまった。
		見死 舞 亡			
掛金	こども1名あたり(年間) 200円		I型(宿泊なし)→名簿不要 ※ただし名簿がある場合は、自宅から会場までの往路途上の事故も補償されます。	II型(宿泊あり)→名簿必要 1泊2日 230円	
	※中途加入の場合も200円		参加者1名につき 30円 ※ただし、1回の行事につき50名以上で申し込んで下さい。	2泊3日 235円 3泊4日 240円 4泊5日 305円	

3月1日から市町村社協ボランティアセンターで受け付けます。